

デザイン学科准教授 美和 (津田) 佳紀

1. 研究活動

「都市を映す家」展	2012. 12. 8 ～12. 16	文化のみち 榎木館 名古屋市東区榎木町2-18	The History of Japanese Chinaware (映像インスタレーション作品、原田昌明氏とのコラボレーション)
「大名古屋電腦博」展	2013. 5. 2 ～5. 6	名古屋市民ギャラリー矢田	企画委員および名古屋芸術大学展示室ディレクションを担当
幸村真佐男作品展「People Gazing」ギャラリートーク	2013. 10. 12	名古屋大学教養教育院プロジェクトギャラリー「clas」	幸村真佐男氏の作品について、トマス・ピンチョン、ビリー・クルーヴァーらとの関連に触れながら解説した。

「第5回きらりアート展」	2013. 10. 14	パレア若狭 福井県若狭町	審査員を担当
名古屋市西区との共同事業「ものづくり文化の道」イメージビデオ制作指導等	2013. 11 ～2014. 3	名古屋市西区役所	本学学生、院生による地域のもの作り工房紹介ビデオ制作指導など
文化庁メディア芸術祭 愛知展	2014. 1. 5 ～1. 13	愛・地球博記念公園 地球市民交流センター	企画委員および名古屋芸術大学展示ブースディレクション担当
第3回現代美術のつどい「藤澤典明の世界」展シンポジウム	2014. 3. 23	パレア若狭 福井県若狭町	講演「藤澤典明とインターメディア (1970年代～80年代)」およびパネルディスカッションにパネラーとして参加
名古屋大学教養教育院プロジェクトギャラリー「clas」記録誌「NAGOYA UNIVERSITY annual bulletin of clas 2013」	2014. 3	名古屋大学教養教育院プロジェクトギャラリー「clas」記録誌「NAGOYA UNIVERSITY annual bulletin of clas 2013」	幸村真佐男作品展「People Gazing」の展評執筆

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目 デザイン実技Ⅲ MC-MMD およびデザイン実技Ⅱ MC-MMD		メディアデザインコース3年生および大学院生による名古屋市西区との共同事業「ものづくり文化の道」イメージビデオ制作プロジェクトに参加した。具体的には学生が区内にある伝統工芸の工房取材とインタビューをおこない、それを編集して後継者不足に悩む現状や、技術の伝承などの問題を映像化した。これらの活動をとおして学生が映像リテラシーに関しての理解を深めることができた。
<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
中部地域で初めて開催される『文化庁メディア芸術祭愛知展』の企画に携わると同時に、本学学生を引率して展示見学し、現代のメディアアート表現を実際に体験する機会をつくった。	会場内部が名古屋芸大OB、OGおよび近隣大学の学生OB、OGの展示空間と、キャリアのあるメディアアーティストによる展示空間に分割されており、その両方を見学、体験することによって身近なものから、多様な現代的表現に至るまでを理解することができるように導入、解説した。	

3. 学会等および社会における主な活動